

【別添資料一覧】

- 資料 1 教育学科カリキュラム
- 資料 2 履修モデルA
- 資料 3 履修モデルB
- 資料 4 教育学科時間割
- 資料 5 教育実習受け入れ承諾書
- 資料 6 情報の公表（WEB サイト一覧表）
- 資料 7 授業評価アンケート
- 資料 8 シラバス「教職概論」
- 資料 9 シラバス「教職実践演習（小）」
- 資料 10 シラバス「キャリア・デザイン概論」
- 資料 11 教職課程合宿要項（抜粋）
- 資料 12 桜育会開催要項
- 資料 13 キャリアセンター主催セミナー

資料1

■教育学科カリキュラム

入門期

展開期

統合発展期

科目分類	科目系列	1年次	2年次	3年次	4年次
教育基幹科目	I 教育の価値	初等教育学 ● 基礎演習 ●		教育創造演習④, ●	卒業論文⑫ ●
	II 教育と現代社会	世界の教育 教育の歴史と現代	子ども文化論 学級経営論 児童発達心理学	特別支援教育論 ● 教育経営組織論 教育情報管理論 学校アーカイブズ論 学校カウンセリング論	
教育創造科目	I 新しい実践の創造	日本語教育論 I ● 環境教育論 I ボランティア学習論 I 国際理解教育論 I	日本語教育論 II 環境教育論 II ボランティア学習論 II 国際理解教育論 II (各 II は各 I の履修者のみ)	市民性教育論 参画型学習論 学校地域家庭連携論 生涯学習論	
		II 表現と創造	発信技法 I (言語表現) 発信技法 II (身体表現) 発信技法 III (情報)		
	III 体験と創造	自然体験実習 ●	子どもと発達	社会体験実習 ● レクリエーション演習	
免許関連科目	I 教職に関する科目 (無印)	教職概論 ● 教育基礎 ● 教育心理学 ● 教育制度 ● 初等教育課程論 ●	■介護概論 ①	初等教育実習 I ①	教職実践演習 (小) 初等教育実習 II 初等教育実習 III
			初等道徳教育指導法 初等特別活動指導法 初等教育方法・技術 初等生徒指導 教育相談 ▲書道		
	▲国語科概説		初等国語科教育法		
	▲社会科概説		初等社会科教育法		
	▲算数科概説		初等算数科教育法		
	▲理科概説		初等理科教育法		
II 教科に関する科目 (▲印)	▲生活科概説	初等生活科教育法			
	▲音楽科概説	初等音楽科教育法			
III 教科又は教職に関する科目 (■印)	▲図画工作科概説	初等図画工作科教育法			
	▲家庭科概説	初等家庭科教育法			
	▲体育科概説	初等体育科教育法			
	■初等英語活動概説	■初等英語活動指導法			
総合基礎科目	外国語科目	外国語 I R (中級) 外国語 I C (中級) 外国語 II B (初級) 外国語 II C (初級)	外国語 I R (上級) 外国語 I C (上級)		
		スポーツ・健康科学科目	スポーツ・健康科学 I		
	基礎教養科目・情報科目			8単位必修	

【備考】

表に示した配当年次は、当該科目の最低可能履修年次である

●は教育学科専門科目のうち必修

丸数字は単位数 (記入がないものは2単位)

選択必修科目

36単位

このうち2単位必修

このうち2単位必修

このうち6単位必修

※ただし II を2単位以上含む

このうち4単位必修

このうち2単位必修

このうち20単位必修

選択必修科目の各カテゴリーの最低基準を超えて修得した単位数は

まず選択科目14単位として、次いで自由科目20単位の単位数として算入する

資料2

■履修モデルA

入門期

展開期

統合発展期

単位数

科目分類	科目系列	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
教育基幹科目	I 教育の価値	初等教育学 ● 基礎演習 ●		教育創造演習④ ●	卒業論文⑫ ●	26
	II 教育と現代社会	世界の教育	児童発達心理学	特別支援教育論 ●		
教育創造科目	I 新しい実践の創造	日本語教育論 I ●		市民性教育論		18
		環境教育論 I	環境教育論 II	参画型学習論		
	ボランティア学習論 I	(各 II は各 I の履修者のみ)				
II 表現と創造	発信技法 II (身体表現)					
III 体験と創造	自然体験実習 ●			社会体験実習 ●		
免許関連科目	I 教職に関する科目 (無印)	教職概論 ●	■介護概論 ①	初等教育実習 I ①	教職実践演習 初等教育実習 II 初等教育実習 III	64
		教育基礎 ●	初等道徳教育指導法			
	教育心理学 ●	初等特別活動指導法				
	教育制度 ●	初等教育方法・技術				
II 教科に関する科目 (▲印)	初等教育課程論 ●	初等生徒指導				
III 教科又は教職に関する科目 (■印)		教育相談				
		▲書道	▲国語科概説	初等国語科教育法		
			▲社会科概説	初等社会科教育法		
			▲算数科概説	初等算数科教育法		
		▲理科概説	初等理科教育法			
			▲生活科概説	初等生活科教育法		
		▲音楽科概説	初等音楽科教育法			
			▲図画工作科概説	初等図画工作科教育法		
			▲家庭科概説	初等家庭科教育法		
			▲体育科概説	初等体育科教育法		
			■初等英語活動概説	■初等英語活動指導法		

70単位で免許取得 (64単位で卒業は可)

総合基礎科目	外国語科目	外国語 I R (中級) 外国語 I C (中級) 外国語 II B (初級) 外国語 II C (初級)	外国語 I R (上級) 外国語 I C (上級)			12
	スポーツ・健康科学科目	スポーツ・健康科学 I				2
基礎教養科目・情報科目	初等情報処理1	日本国憲法	哲学④			8
【備考】						自由科目 0

【備考】

表に示した配当年次は、当該科目の最低可能履修年次である

●は教育学科専門科目のうち必修

丸数字は単位数 (記入がないものは2単位)

履修モデルA (小学校教員モデル)

●印の必修科目をすべて履修

免許関連科目をすべて履修

教育基幹科目と教育創造科目は太枠の科目を履修 (例示)

選択必修科目

36単位

このうち2単位必修

このうち2単位必修

このうち6単位必修

このうち4単位必修

このうち2単位必修

このうち20単位必修

※ただし II を2単位以上含む

免許を取得する場合は卒業に必要な単位より6単位多く習得する必要がある

選択必修科目の各カテゴリーの最低基準を超えて修得した単位数は

まず選択科目14単位として、次いで自由科目20単位の単位数として算入する

計

130

資料3

■履修モデルB

入門期

展開期

統合発展期

単位数

科目分類	科目系列	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数	
教育基幹科目	I 教育の価値	初等教育学 ● 基礎演習 ●		教育創造演習④ ●	卒業論文⑫ ●	40	
	II 教育と現代社会	世界の教育	子ども文化論	特別支援教育論 ●			
		教育の歴史と現代	学級経営論	教育経営組織論			
			児童発達心理学	教育情報管理論			
			学校アーカイブズ論	学校カウンセリング論			
教育創造科目	I 新しい実践の創造	日本語教育論 I ●	日本語教育論 II	市民性教育論		18	
		ボランティア学習論 I	ボランティア学習論 II				
	II 表現と創造	発信技法 I (言語表現)	(各 II は各 I の履修者のみ)	生涯学習論			
	III 体験と創造	自然体験実習 ●		社会体験実習 ●			
免許関連科目	I 教職に関する科目 (無印)	教職概論 ● 教育基礎 ● 教育心理学 ● 教育制度 ● 初等教育課程論 ●	初等道徳教育指導法 初等特別活動指導法 初等教育方法・技術 初等生徒指導 教育相談			30	
							II 教科に関する科目 (▲印)
	III 教科又は教職に関する科目 (■印)	▲理科概説	初等理科教育法				
総合基礎科目	外国語科目	外国語 I R (中級) 外国語 I C (中級) 外国語 II B (初級) 外国語 II C (初級)	外国語 I R (上級) 外国語 I C (上級)			12	
	スポーツ・健康科学科目	スポーツ・健康科学 I				2	
	基礎教養科目・情報科目	初等情報処理1	日本国憲法	哲学④		8	
						自由科目	20
						計	130

【備考】

表に示した配当年次は、当該科目の最低可能履修年次である
●は教育学科専門科目のうち必修
丸数字は単位数（記入がないものは2単位）

履修モデルB（教員免許を取得しないモデル）
●印の必修科目をすべて履修
免許関連科目のうち20単位を履修（例として太枠の科目）
教育基幹科目と教育創造科目は太枠の科目を履修（例示）

選択必修科目	このうち2単位必修
36単位	このうち2単位必修
	このうち6単位必修
	このうち4単位必修
	このうち2単位必修
	このうち20単位必修

※ただしIIを2単位以上含む

選択必修科目の各カテゴリーの最低基準を超えて修得した単位数は
まず選択科目14単位として、次いで自由科目20単位の単位数として算入する

資料4

教育学科時間割

1年次履修可	2年次履修可	3年次履修可	4年次履修可
--------	--------	--------	--------

▲ 2年次履修可だが3年次履修を推奨する科目

	月		火		水	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1限	外国語Ⅰ（R）中級		外国語Ⅰ（C）中級		外国語Ⅱ（B）初級	
	外国語Ⅰ（R）上級		国語科概説A	初等国語科教育法A	社会科概説A	初等社会科教育法A
2限	学級経営論	書道	教育経営組織論	発信技法Ⅲ（情報）	世界の教育	発信技法Ⅰ（言語表現）
			国語科概説B	初等国語科教育法B	社会科概説B	初等社会科教育法B
3限	児童発達心理学	介護概論A・B	教育情報管理論		初等教育方法・技術▲	教職実践演習
	特別支援教育論	学校地域家庭連携論				
4限	教育の歴史と現代	発信技法Ⅱ（身体表現）	教育心理学	日本語教育論Ⅰ	算数科概説A	初等算数科教育法A
	生活科概説A	初等生活科教育法A	日本語教育論Ⅱ		レクリエーション演習	
5限	環境教育論Ⅱ	環境教育論Ⅰ	学校アーカイブズ論	学校カウンセリング論	教育基礎	教職概論
	初等生徒指導▲	教育相談▲			算数科概説B	初等算数科教育法B

	木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1限	外国語Ⅱ（C）初級		スポーツ・健康科学Ⅰ		理科概説A	理科教育法A
	子ども文化論		外国語Ⅰ（C）上級		図画工作科概説A	初等図画工作科教育法A
2限	教育創造演習		初等教育課程論	教育制度	理科概説B	理科教育法B
			体育科概説A	初等体育科教育法A	図画工作科概説B	初等図画工作科教育法B
3限	音楽概説A	音楽科教育法A	市民性教育論	ボランティア学習論Ⅰ		
	家庭科概説A	初等家庭科教育法A	体育科概説B	初等体育科教育法B		
4限	音楽概説B	音楽科教育法B	初等道徳教育指導法▲初等特別活動指導法▲			
	家庭科概説B	初等家庭科教育法B				
5限	国際理解教育論Ⅱ	国際理解教育論Ⅰ	基礎演習	初等教育学		
			生活科概説B	初等生活科教育法B		

集中 (通年)	自然体験実習	卒業論文
	子どもと発達	初等教育実習Ⅱ
	社会体験実習	初等教育実習Ⅲ

集中 (前期)	初等英語活動概説A	ボランティア学習論Ⅱ
	初等英語活動概説B	

集中 (後期)	初等英語活動指導法A	参画型学習論
	初等英語活動指導法B	生涯学習論

資料5

東京都教育委員会 教育実習受入承諾書（添付省略）

承認する課程の名称	文学部教育学科
免許状の種類、免許教科	小学校教諭1種免許状
承認開始時期	平成25年4月1日

資料6

ト 情報の公表

WEBサイト一覧表

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/>

ホーム>大学概要>公表情報コーナー

①	大学の教育研究上の目的に関する事	大学学則第2章	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/youran_2011/gakubu/pdf/p8_11.pdf ホーム>大学概要>大学・大学院・専門職大学院学則>大学学則>第2章 学部・学科の組織及び教育研究上の目的
②	教育研究上の基本組織に関する事	大学組織図	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/soshiki/main.html ホーム>大学概要>大学組織図
③	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事	教員組織	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/organization.html ホーム>大学概要>公表情報コーナー>教員組織
		専任教員数	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/academic.html ホーム>大学概要>公表情報コーナー>専任教員数
		各教員が有する学位及び業績	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/daisho/staff/main.html ホーム>大学概要>専任教員・スタッフ
④	入学者に関する受け入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事	入学者に関する受け入れ方針(学部)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/policy.html ホーム>大学概要>公表情報コーナー>入学者に関する受け入れ方針(学部)
		入学者数・収容定員、在学者数	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/7-4.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDFファイル
		卒業生数	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/3-8.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDFファイル
		修了者数	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/postgraduate.html ホーム>大学概要>公表情報コーナー>修了者数
		進学者数、就職者数	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/3-10.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDFファイル
⑤	授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事	履修要覧	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/top.html ホーム>学生生活・キャリア>授業関連情報(教務課)>履修要覧
		時間割	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/timetable.html ホーム>学生生活・キャリア>授業関連情報(教務課)>時間割
		シラバス	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/syllabus.html ホーム>学生生活・キャリア>授業関連情報(教務課)>シラバス
⑥	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事	大学学則第6章	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/youran_2011/gakubu/pdf/p15.pdf ホーム>大学概要>大学・大学院・専門職大学院学則>大学学則>第6章 単位修得及び試験
		大学学則第7章	http://syllabus.gakushuin.ac.jp/youran_2011/gakubu/pdf/p16.pdf ホーム>大学概要>大学・大学院・専門職大学院学則>大学学則>第7章 卒業及び学位
⑦	校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関する事	キャンパス概要、運動施設概要(1)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/stu/student/p07/guide/09.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
		キャンパス概要、運動施設概要(2)	http://www.gakushuin.ac.jp/mejro.html ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
		キャンパス概要、運動施設概要(3)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/7-5.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
		その他(図書館)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/page1.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
		その他(計算機センター)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/page2.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
		その他(外国語教育センターLL自習室)	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/page3.pdf ホーム>大学概要>公表情報コーナー PDF
⑧	授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関する事	学費一覧	http://www.gakushuin.ac.jp/ad/kaikei/noufu.html ホーム>法人本部>学習院データ>学費>学費一覧

資料6

ト 情報の公表

WEBサイト一覧表

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/profile/kouhyo/>

ホーム>大学概要>公表情報コーナー

⑨	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	奨学金	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/stu/student/p09/index.html ホーム>学生生活・授業・キャリア>奨学金
		キャリアセンター	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/place/index.html ホーム>学生生活・授業・キャリア>キャリアセンター
		学生相談室	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/sco/ ホーム>学生生活・授業・キャリア>学生相談室
		保健センター	http://www.gakushuin.ac.jp/ad/person/health/campus/top.html ホーム>学生生活・授業・キャリア>保健センター
⑩	その他	学則等の諸規程	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/daisho/oshirase/gakusoku/index.html ホーム>大学概要>大学・大学院・専門職大学院学則
		自己点検・評価報告書	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/hyoka/accreditation.html ホーム>大学概要>客観的評価への取り組み>学習院大学 自己点検・評価
		認証評価の結果	http://www.gakushuin.ac.jp/univ/hyoka/2007jikotaiken/gakushuin.pdf ホーム>大学概要>客観的評価への取り組み>学習院大学 自己点検・評価
		財務状況	http://www.gakushuin.ac.jp/ad/zaimu/index.html ホーム>法人本部>学習院データ>学習院の財務状況

資料7



平成22(2010)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。

学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】



時間割コード					授業形態			学科コード			学年		性別			
					講義 ①					①			①		男 ①	
①	①	①	①	①	演習 ②					②			②		女 ②	
②	②	②	②	②	語学 ③					③			③			
③	③	③	③	③						④			④			
④	④	④	④	④						⑤			⑤			
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤						⑥			⑥			
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥						⑦			⑦			
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦						⑧			⑧			
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧						⑨			⑨			
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨						⑩			⑩			
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩						⑪			⑪			
⑪	⑪	⑪	⑪	⑪						⑫			⑫			

- ・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- ・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- ・誤りは消しゴムで完全に消してください。
- ・指定以外のところには書き込まないでください。
- ・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- ・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- ・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□にある□の3桁の数字です。
(例) 08-011-9999の場合「011」
08-095-9999の場合「095」
- ・本学の学籍番号が付与されていない学生(i-Canvas生・大学語交流生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

【回答の基準】

- 5: 強くそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない
2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

質問項目	回答欄
● 1～11は「全員」回答してください。	
1 私はこの授業によく出席している ⑤:出席率90%以上 ④:出席率89～80% ③:出席率79～70% ②:出席率69～50% ①:出席率49%以下	⑤ ④ ③ ② ①
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	⑤ ④ ③ ② ①
3 この授業のレベルは適切である	⑤ ④ ③ ② ①
4 この授業を進める速さは適切である	⑤ ④ ③ ② ①
5 授業に対する教員の熱意が感じられる	⑤ ④ ③ ② ①
6 教員は教室内で学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	⑤ ④ ③ ② ①
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤ ④ ③ ② ①
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤ ④ ③ ② ①
10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤ ④ ③ ② ① ⑩
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤ ④ ③ ② ①
● 12・13は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
● 14・15は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	⑤ ④ ③ ② ①
15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	⑤ ④ ③ ② ①
● 16・17は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
16 1回1回の授業のねらいが明確である	⑤ ④ ③ ② ①
17 教員は授業時間を有効に活用している	⑤ ④ ③ ② ①
● 18・19は「開設部門」が「共通科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。	
18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	⑤ ④ ③ ② ①
19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	⑤ ④ ③ ② ①
● 20・21は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。	
20 私は授業に遅刻したことがない	⑤ ④ ③ ② ①
21 高校で履修した数学科目 ④:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した ③:数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した ②:数Ⅰのみ履修した ①:いずれにも該当しない(例:留学生)	⑤ ④ ③ ② ①
● 22～29は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。	
22 運動量は ⑤:十分であった ④:おおむね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不十分であった	⑤ ④ ③ ② ①
23 体力・健康状態が改善された	⑤ ④ ③ ② ①
24 運動技術が向上した	⑤ ④ ③ ② ①
25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	⑤ ④ ③ ② ①
26 身体や運動に対する関心が高まった	⑤ ④ ③ ② ①
27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた	⑤ ④ ③ ② ①
28 自分の生活習慣を見直す機会となった	⑤ ④ ③ ② ①
29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	⑤ ④ ③ ② ①

資料8 シラバス（教職概論）

授業科目名： 教職概論	単位数： 2単位	担当教員名： 長沼 豊
科 目	教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）	
各科目に含めることが 必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許取得を目指す1年次学生に対して、教職（教員の職務）に関する基礎的・基本的な知識を習得させ、2年次以降の本格的な教職課程履修の動機付けとする。 ・学校教育をめぐる事象の理解（地域や家庭との連携を含む）、教員として最低限必要な基礎的な用語・概念の理解、教師像の探求等を重点テーマにする。 		
<p>授業の概要</p> <p>教育職員免許法施行規則に基づき、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容について講じ、進路選択に資する各種の機会の提供等を行う。小学校教員免許取得希望者を受講対象者とするため、小学校教育の状況、小学校教員の職務、小学校教員への進路選択に資する情報を中心的な話題として講義を進める。講義形式を中心とするが、グループによる討議、発表等も取り入れる。</p>		
<p>授業計画</p> <p>第1回：教職の意義（学校教育と教員の役割）</p> <p>第2回：教育課程と教員の職務</p> <p>第3回：教員の職務(1) 教科指導</p> <p>第4回：教員の職務(2) 道徳の指導</p> <p>第5回：教員の職務(3) 特別活動の指導</p> <p>第6回：教員の職務(4) 総合的な学習の時間の指導</p> <p>第7回：教員の職務(5) 外国語活動の指導</p> <p>第8回：教員の職務(6) 生徒指導</p> <p>第9回：教員の職務(7) 研修、服務、身分保障等</p> <p>第10回：進路選択に向けて（教育実習と教員採用試験の動向）</p> <p>第11回：進路選択に向けて（理想の教師像の探求）</p> <p>第12回：地域との連携・協働</p> <p>第13回：家庭との連携</p> <p>第14回：求められる教師の資質・能力</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>		

資料8 シラバス（教職概論）

テキスト

特に用いない（プリント教材、パワーポイント映写等を活用して進行する）

参考書・参考資料等

吉田辰雄、大森正編著『改訂新版・教職入門』図書文化社、2008年

文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍、2008年

学生に対する評価

最終の定期試験の結果を中心とする（8割程度）。ミニレポートの内容も加味して総合的に評価する。

資料9 シラバス（教職実践演習（小））

授業科目名： 教職実践演習（小）	単位数： 2単位	担当教員名： 齋藤利彦 嶋田由美
科目	教職に関する科目（教職実践演習）	
各科目に含めることが 必要な事項	教員として求められる基礎的な事項として、4つの事項、すなわち (1)使命感や責任感、教育的愛情などに関する事項 (2)社会性や対人関係能力に関する事項 (3)児童生徒理解や学級経営に関する事項 (4)教科等の指導力に関する事項	
授業の到達目標及びテーマ 教育職員免許法に定められた小学校教諭普通免許状授与のための「教職に関する科目」群のうち「教職実践演習」に該当するものである。4年次後期の学生を対象に、当該履修学生の教科に関する科目および教職に関する科目の履修状況をふまえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認し、よりよい教員になるよう指導することをねらいとする授業科目である。		
授業の概要 模擬授業、班討議、教育実習の成果発表等多様な方法により知識技能を確認する。 また、免許状取得に必要な科目の履修を始めてから教職実践演習の授業を受けるまでの間に各自が作成した「履修カルテ」を参照し、個別に補完的な指導を行う。 適正な規模の演習形式で行ない、現職教員または教員経験者による授業を組み込むことも考える。		
授業計画 第1回 イン트로ダクション 第2回 これまでの履修と学んだ内容の振り返りについて グループ討論 第3回 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責任等について 講義とグループ討論 第4回 社会性や対人関係能力（組織の一員としての自覚、保護者や地域の関係者との人間関係の構築等）についての講義とグループ討論 第5回 児童生徒理解や学級経営についての講義とグループ討論 第6回 学級経営案の作成とグループ討論 第7回 授業指導案の作成 第8回 道徳教育授業指導案の作成 第9回 総合的な学習の時間指導案の作成 第10回 外国語活動指導案の作成 第11回 特別活動指導案の作成 第12回 教科の模擬授業 第13回 生徒指導についての場面指導の実施		

資料9 シラバス（教職実践演習（小））

第14回 保護者や地域の関係者との人間関係の構築についてのロールプレイ

第15回 演習の成果の総括

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

参考資料は毎回の授業において配布し、参考書についても毎回の授業ごとに紹介する。

学生に対する評価

実技指導、グループ討論、補完指導、試験の結果等を踏まえ、教員として最小限必要な資質能力が身に付いているかを確認し、単位認定を行う。

授業科目名： キャリア・デザイン概論	単位数： 2 単位	担当教員名： 木村 進
-----------------------	--------------	----------------

授業のねらいと概要

大学生活をより有効に過ごすため、授業ではまず、大学へきた目的を確認し、次にその学識、経験をもって実社会で何をしていきたいかを考える。さらに自己理解と職業理解について学び、卒業後の自分のビジネス・キャリアをイメージし、そのために大学で何を修得したいのかを明確化し、それに合った履修や学生生活の送り方を考えていく。

授業計画

第1回：ガイダンス「大学期とキャリアの概念」

○大学期のタイム・マネージャーは自分

第2回：なぜ今、キャリア・デザインなのか「終身雇用制の崩壊」

○雇用環境の変化

第3回：情報リサーチ力「キャリアに関する情報リサーチ」

○大学図書館からのプレゼンテーション

第4回：学生期のキャリア①「大学で何をやりたいのか」

○大学期への期待と自己実現へのプロセス

第5回：人間関係スキル「人は集団的動物」

○他人の中の自分

第6回：基礎力理解「新卒に求められる能力」

○社会人として必要な基礎的能力

第7回：職業理解①「社会としごと」

○なぜ、働くのか

第8回：職業理解②「さまざまな働き方」

○人と社会のつながりとは

第9回：自己理解①「R-CAP 検査」

○自分の職業に対する興味、価値観、志向性を分析する

第10回：自己理解②「職業興味検査、性格検査」

○Prep-Y/ Capt-y

第11回：就職活動「ストーリー性のある就活」

○ワーク・ステージの設定

第12回：自己理解「R-CAP 検査 結果分析」

○ローカス・オブ・コントロール

第13回：「ライフ・キャリアを考える」

○夢の目標化

第14回：同上（発表）

第15回：全体まとめ

資料 10 シラバス (キャリア・デザイン概論)

(備考)

毎回、プロジェクターによる講義のほかに、ワークシートやアセスメント・ツールを使い、自己理解を深めていく。なお、「R-CAP」検査を受ける際に3,000円の費用負担が発生する。履修者数制限あり。(80名)

テキスト 特になし

参考書・参考資料等

村上龍『13歳のハローワーク』幻冬舎

五十棲剛史『なぜ、あなたは働くのですか?』ビジネス社

A・W・コーンハウザー『大学で勉強する方法』玉川大学出版部

学習技術研究会『知へのステップ』くろしお出版

佐藤智明 他『大学学びのことはじめ』ナカニシヤ出版

その他の文献は、必要に応じて紹介する。

学生に対する評価

出欠状況、提出物などをもとに総合的に評価する。

資料 11 (教職合宿要項) 抜粋

学習院大学教職課程

第 24 回教職合宿
2011 (平成 23) 年 8 月 11 ~ 13 日
山中湖プラザホテル

●要項●

1. ねらい

教職課程履修者のうち、教職志望度の高い学生がつどい、情報交換と相互学習を行うことで、教職への意欲をさらに高めるとともに、教職に必要な知識・技能等を身につける。また、本学出身の教員がつどい、相互研鑽を深めるとともに、学生への情報提供等を行う場とする。

2. 対象者

教職課程履修者 (学部 2 年生以上) で、教職への志望を強くもっている者
本学出身の教員

3. 主催

学習院大学教職課程

〒171-8588 豊島区目白 1-5-1 03-3986-0221 代

4. 期日

8 月 11 日 (木) ~ 13 日 (土) 2 泊 3 日

5. 場所

山中湖プラザホテル (〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 1016 番地)

TEL0555-65-7331 ※新宿から高速バス、平野バス停から送迎あり

6. 集合

8 月 11 日 14:00 現地

7. 解散

8 月 13 日 13:00 現地

8. 費用

参加費: 17,000 円 (宿泊・食費 14,000 円、懇親会費・雑費等 3,000 円)

※初日に集金予定

※交通費は別途自己負担

※食費は初日夕食、2日目朝・昼・夕食、3日目朝・昼食の計 6 食

9. 持参するもの

保険証コピー・学習用具・生活用具・常備薬等

●その他●

当日急に参加できなくなった場合は午前 7 時までに長沼へ連絡してください。

●日程●

8月11日（木）

- 14:00 集合（宿舎）
- 14:30～16:30 セッション① アイスブレイク
- 16:30 入浴等
- 18:00 夕食
- 19:00～21:00 セッション② ケーススタディ
- 21:00～23:00 懇談

8月12日（金）

- 7:00 朝食
- 8:30～11:30 セッション③ 模擬授業
- 12:00 昼食
- 13:00～16:00 セッション④ フィールドワーク
- 16:00 入浴等
- 18:00 夕食
- 19:00～21:00 セッション⑤ ディスカッション
- 21:00～23:00 懇談

8月13日（土）

- 7:00 朝食・荷物整理
- 8:30～11:30 セッション⑥ まとめの活動
- 12:00 昼食
- 13:00 解散（宿舎）

●セッション担当班の役割●

- ・各セッション担当班の役割は、事前の企画・準備、当日の司会・記録・運営
- ・必要なプリント等は人数分を事前に用意してきてください。
- ・内容だけでなく、方法も検討してください。
→各セッション担当班の代表は、企画がまとまったら
8月4日（木）までに柴崎先生へメールで企画書を提出してください。
手直しをしてもらうこともあります。

●生活・全体運営等●

- ・全員教職志望者であることを鑑み、宿泊行事の引率者の視点も学んでください。
- ・適宜役割を分担してください。 →生活班等の設定
- ・各自で管理を！（時間・健康・貴重品）
- ・外出は23時まで。

資料12(桜育会 開催要項)

桜育会会員 各位

桜育会のご案内

平成23年4月
学習院大学教職課程
桜育会

会員の皆様には、お元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。
本年度も桜育会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時・場所

平成23年5月28日(土)

- 研修会 14:30～17:00 (学習院大学 中央教育研究棟 405教室)
- 総会 17:00～17:20 ()
- 懇親会 17:40～19:40 (フィオレンティーナ) 目白駅横・メッツホテル内
◇懇親会費 3000円

2. 研修会の内容

講演 「学校が裁判で裁かれる時」

講師： 羽成 守 先生

【プロフィール】東京弁護士会登録。ひびき綜合法律事務所所長。
中央大学法学部法律学科卒業。中央大学法学部講師・中央大学法科大学院客員教授。
著書「学校生活をめぐる法律相談」など多数。

講演内容：学校の日常に起こるさまざまなことに関する法律的な知識を実例に即して紹介していただきます。

3. お申し込み方法

準備の都合上、参加される方は5月20日(金)まで(必着)にご連絡ください。

参加を希望される方は、別紙の連絡票にご記入いただきFAXか封書でお送りください。
eメールにてご連絡いただく場合には、連絡票の記載事項をお書きくださるよう、お願い申し上げます。

*不参加の場合や、住所等に変更がない場合は連絡不要です。

4. 備考

教職課程および桜育会において卒業生の動向を把握する都合上、住所、勤務校等が変更になった場合には、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

今後本会の連絡が必要ない方についても、お手数ですがご連絡ください。

お問い合わせ先 学習院大学教職課程事務室

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03-3986-0221代(内線6750)

FAX 03-5992-1035

桜育会専用アドレス→ouikukai@gakushuin.ac.jp

平成23年度 キャリア・就職支援プログラム

学習院大学キャリアセンター 平成23年9月20日時点

日時	内 容	日時	内 容
9月20日(火) = 法・政・済・営 9月21日(水) = 上記以外 18時~ (90分)	就職ガイダンス (3年生・M1年生全員) ~ 就職希望予定者は全員参加! ~ 注: 左日程に参加できない学生は、9/21(水)13:00~に参加のこと 記念会館正堂 講師: キャリアセンター・外部講師	10月20日(木) 10月24日(月) 10月28日(金) 11月1日(火)	第13回 就職セミナー (1~3年生・M1年生) 業界研究ワークショップ 実施教室や対象業界については後日、詳細を告知。
9月26日(月) 18時~ (90分)	第7回 就職セミナー (女子学生) 女子学生講座(身だしなみ・メイク) 西5号館B1教室 講師: 外部講師	11月8日(火)	第14回 就職セミナー (1~3年生・M1年生) SPI2・一般常識テスト解説
9月28日(水) 18時~ (90分)	マスコミ・広告セミナーガイダンス(後期) (マスコミ・広告業界志望者) 西5号館B1教室 講師: キャリアセンター・OB&OG	11月10日(木) ~ 11月29日(火) 期間中の火・木(全6回) 18時10分~ (60分)	第15回 就職セミナー (1~3年生・M1年生) 業界研究ワークショップ 実施教室や対象業界については後日、詳細を告知。
9月30日(金) 10月4日(火) 18時~ (90分)	第8回 就職セミナー (3年生・M1年生) 自己分析+自己PR講座[秋季](全2回) 西5号館B1教室 講師: 外部講師	11月14日(月)	第16回 就職セミナー (3年生・M1年生) エントリーシート実践編 事前申込が必要、詳細は別途告知
10月1日(土) 13時~ (2時間)	第9回 就職セミナー (3年生・M1年生+希望者) 卒業生による講座 (人事経験者パネルディスカッション) 記念会館正堂 講師: OB&OG	11月18日(金) 18時~ (90分)	第17回 就職セミナー (1~3年生・M1年生) SPI2テスト 事前申込が必要、詳細は別途告知
10月3日(月) ~ 11月2日(水) 12時40分~ 14時30分	就職いろは塾 (3年生・M1年生) (期間中計15回実施・学生はその内の1回のみ参加可能) 講師: キャリアセンター	11月25日(金) 18時~ (90分)	第18回 就職セミナー (3年生・M1年生+希望者) 卒業生による講座 (人事経験者パネルディスカッション) 記念会館正堂 講師: OB&OG
10月7日(金) 18時~ (90分)	公務員ガイダンス (公務員志望者) 西5号館B1教室 講師: (株)東京リーガルマインド	11月28日(月) 18時~ (90分)	第19回 就職セミナー (3年生・M1年生+希望者) 内定者(現4年生)による就職活動パネルディスカッション 記念会館正堂 講師: キャリアセンター・内定者
10月8日(土) 13時~ (3時間)	第10回 就職セミナー (1~3年生・M1年生) SPI2・一般常識テスト 西5号館B1・201・202教室 講師: 外部講師	12月1日(木)~ 22日(木) ただし土日および指定日を除く	業界研究セミナー (3年生・M1年生就職希望者) ブース形式(西5号館1F多目的ホール) 講義形式(各教室) 詳細は別途告知
10月11日(火) 18時~ (90分)	第11回 就職セミナー (3年生・M1年生) エントリーシート基礎編 事前申込が必要、詳細は別途告知 西5号館B1・201・202教室 講師: 外部講師	1月8日(日) 1月9日(月) 2日間連続 8時30分~ 18時	第20回 就職セミナー (3年生・M1年生) 面接対策セミナー 事前申込が必要、詳細は別途告知 記念会館(正堂・第1~4会議室)および東別館、西5号館 西1、西2、北1号館全館 講師: OB&OG
10月13日(木)~ 11月24日(木) 開催日は各自で確認のこと 18時10分~ (90分)	マスコミ・広告セミナー(後期) (マスコミ・広告業界志望者) 事前申込が必要、詳細は別途告知 西5号館202教室 講師: OB&OG	2月13日(月) ~ 2月29日(水) ただし土日および指定日を除く	学内企業説明会 (3年生・M1年生就職希望者) 講義形式(各教室) 詳細は別途告知
10月15日(土) 13時~ (2時間)	第12回 就職セミナー (3年生・M1年生) 卒業生による講座 (面接対策セミナーガイダンス) 西5号館B1・201・202・302・303教室 講師: OB&OG		

- * 学年指定のあるプログラムについては、原則としてその学年の学生のみを対象とします。
- * 4年生またはM2年生で、次年度も就職活動を行う予定がある者は「3年生・M1年生」対象の行事に参加することができます。
- * 上記プログラムは変更される場合もありますので、G-Port等の掲示に注意してください。